

# 榊の木だより

2025/7/1  
第 119号

発行月 (1/1・4/1・7/1・10/1)

発行：榊の木福祉会（法人本部）  
かしの木の会  
一宮市富田字砂原2147

Tel/Fax 0586-63-2111 / 61-1200

榊の木福祉会 ホームページ  
<https://www.kasinoki.jp>

ひとりひとりひかる

# きぼう



## 2025年運動会

### 5月は事業所ごとに運動会！

あいにく今年は開催日に雨が降りましたので、延期したり屋内競技に変更するなど事業所ごとに工夫して行いました。

利用者さん一人ひとりが競技に集中して盛り上がりを見せていました。

### 【目次】

- 1P 表紙、目次
- 2P 運動会実施報告（榊の木作業所、ステップ）
- 3P さらに交流会の報告
- 4P 第45回かしの木の会総会を終えて
- 5P 職員の異動について（主任）、新規採用者紹介  
豊田合成様からの寄付受領について
- 6P 「例えば、こんなことはありませんか？」～ゆんたく～



## 「2025 榿の木運動会」



榿の木作業所・榿の木園・ステップは5月10日に合同運動会を、らちえっと・らでうす・かしの木の里の3施設が合同で5月17日に「さらら交流会」を予定していました。しかし、両日とも残念ながら雨に見舞われましたので、施設ごとに交流会や室内運動会を行うこととなりました。その様子をお届けします。

### ～榿の木作業所～

榿の木作業所では、運動会が中止と聞いた利用者さんたちの、暗い顔がありました。楽しみにしていた運動会を、出来る範囲で行うことになり、当日も雨の蒸し暑い中、作業所運動会を実施いたしました。

準備の段階から、利用者さんたちのテンションは上がり始め、笑顔いっぱい、笑い声もいっぱいの楽しい運動会になりました。

運動会開始の合図は、利用者さんの選手宣誓から始まりました。緊張する中、はっきりと声を張って、宣誓してくれました。

作業所の廊下が競技場所になり、チャレンジ競争、パン食い競争を行いました。二人ずつバランスボールを転がし、絵合わせカードを受け取り、パンを目指して走る。

二人で上手に転がす方もいれば、一人で転がす方もいました。絵合わせを飛ばして、パン目指して走っていく方もいました。利用者さんたちの、パンを美味しく食べる姿や、笑顔で競技に参加している姿がみられた楽しい運動会となりました。



利用者さんの運動会が終わると、職員のお菓子食い競争が始まり、利用者さんたちの応援の中、職員同士のバトルが繰り広げられました。普段見られない職員の姿も見られ、利用者さん達、職員一同、爆笑のなか運動会が終わりました。

榿の木作業所 眞野 理恵子

### ～ステップ～

ステップでは、運動会が雨天により中止となり、延期の日程はいつになるのかとみんなで待ち望んでいました。

「運動会の延期の日時が決まりました！」とみんなに報告すると、『平日?!』といつもと違う曜日に驚きながらも開催できることに、目をキラキラさせて喜ばれる利用者さんもみえて、「より一層皆さんに楽しんでもらえる運動会を作りたい！」という気持ちでいっぱいになりました。

そして迎えた5月16日(金)当日!! 午後からの運動会に向けて、午前中の作業にいつも以上に励む姿も!

まずは、パン食い競争。棒持ち係を利用者さんが行ったださるのですが、低かったり高かったりと難易度高め。「口でとるんだよ」と職員から言われたことを守り、一生懸命お目当てのパンまでダッシュ!! 控え場所に戻るとすぐに取ったパンを嬉しそうに頬張りました。

次は、追いかけて玉入れです。「明地チーム」「さいたチーム」「わがんせチーム」に分かれ『よーいスタート!!』始まる前に玉を集めておく作戦のチームや、とにかくたくさん拾って投げる元気なチームもありました。しかし、かごを持つ職員の逃げ足が速くて大苦戦!

そして最後は、障害物競走。おたまに乗ったピンポン球を落とさないよう慎重に運び、ジャンプや、輪っかくぐりをしました。



皆さん思い思いの形で競技を楽しまれ、たくさん笑顔を見ることができました。

来年度は合同での運動会が開催できることを願って、もっと皆さんの笑顔が見られるイベント作りができるように励んでいきます。

ステップ 南垣 更

法人コーナー



～らちえっと～

らちえっとでは、「的当てゲーム」と「福祉ネイル体験」、「喫茶店利用」の3つを行いました。

的当てゲームでは、利用者さんに馴染みのある職員の写真をパネルにし、その的を目掛けてボールを当て得点を競いました。自身の手でボールを投げる方もいれば、補助具を使用する方もおり、皆さんそれぞれのスタイルで楽しまれていました。

福祉ネイル体験では、ネイル初体験の方ばかりで緊張されるかなと思いましたが、皆さんリラックスした表情で施術を受けられていました。完成を楽しみに自然と笑顔になっていく様子を見ながら、付き添っていた職員までも、一緒に楽しい時間を過ごすことが出来ました。

的当てゲームやネイル体験を終えた利用者さんたちは喫茶店へ移動し、アイスコーヒーやジュースなどを飲みながら、利用者さん同士寛がっていました。

参戦することで、勝負は大盛り上がり。一体となって楽しむことができ、利用者さんと職員間の親睦も深まった様に感じます。



～かしの木の里～

かしの木の里では、「人間大ボーリング」と「福祉ネイル体験」を行いました。

ボーリングでは、人間大程のパネルに職員の顔写真がついており、そのピンに向かって大きなボールを転がして、ボーリングを楽しめました。親しみのある顔ぶれのパネルに、利用者さんも喜ばれ、また会場では、楽器を使って他利用者の方を応援する方も見え、とても賑やかでした。

また福祉ネイル体験では、利用者さん一人一人が好みのカラーやデザインを選ばれました。完成後には、職員に素敵な仕上がりを自慢げに見せて下さる方もいらっしゃいました。施術を受けられている間笑顔も多く見られ、先生との交流も深まる時間となりました。



～らでうす～

らでうすでは、「パン食い競争」と「魚釣り」を行いました。

パン食い競争では、5種類の中から、利用者さんそれぞれが好きなパンに狙いを定め、手や口を使いながら一生懸命に取られていました。パンを手にした後は、皆さん大きな口で頬張り、とても美味しそうに召し上がっていました。

また魚釣りでは、裏面に点数が書かれており、釣った魚の点数を競い合いました。中には職員の顔がついたものもあり、好きな職員の顔のついた魚を狙う方も見えました。高得点の方が多く、大接戦の中優勝した利用者さんは、職員とハイタッチをしながら大変喜ばれていました。また職員も



かしの木の里 原 杏奈



## かしの木の会

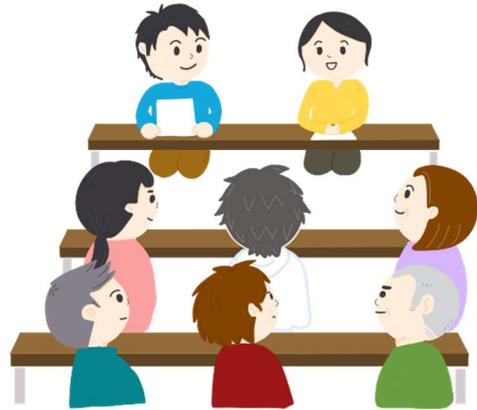
## 第45回かしの木の会総会を終えて

春らしく、さわやかな晴天に恵まれた4月26日土曜日に尾西庁舎6階大ホールにて、かしの木の会総会を行いました。

当日は愛知県議会議員佐藤英俊様、一宮市議会議員渡辺之良様をはじめ来賓の方々、榎の木福祉会の役員の方々、かしの木の会会員の皆様にご出席いただき、温かいご祝辞を賜りました。この紙面をお借りして厚く御礼を申し上げます。また、ご都合により出席いただけなかった会員の皆様に提出していただいた委任状により、総会にて提案いたしました全ての議案について可決されましたことをここにご報告いたします。ご理解ご協力ありがとうございました。

総会では、前年度の事業報告・収支報告、今年度の事業計画・収支計画などをご提案させていただきました。その中で研修委員会とイベント委員会が、令和6年度末をもって解散したという報告をいたしました。長年に渡り活動してまいりました両委員会ですが、役員のご逝去や後任役員のなり手不足、参加委員の減少に加え、2020年から5年間続いた新型コロナウイルス感染症の影響により活動の継続が困難になったため、やむを得ず解散を決断いたしました。解散にあたり両委員会の皆様は、何度も話し合いを重ね継続の方法も考えましたが、打開策は見いだせずこの結論に至りました。これまで会員の皆様のご支援とご協力をいただき、両委員会ともに充実した活動を行うことができましたことを深く感謝いたします。今後は先日実施しましたアンケート結果をもとに、かしの木の会の活動内容の見直しを図り、より良い活動ができるよう努めてまいります。

総会に続いて行われました学習会では、榎の木福祉会法人本部事務局長 野崎貴詞氏に「親なき後我が子に残してほしいもの」というテーマでお話をいただきました。親やきょうだいが亡く



なった後に残された障害のある子はどうなるのかと尽きない不安があります。まずはその不安を相談できる支援センターとつながりを持ち、親やきょうだい亡き後を託す機関や施設、支援員さん等少しでも多くの人に我が子のことを知ってもらうことから始め、地域の方々の理解を得て、安心して亡き後を引き継げる手がかりを、たくさん作っていくことが大事だと教えていただきました。この学習会が、親やきょうだい亡き後の我が子の暮らしを豊かなものにできるよう考え行動する、その一歩を踏み出すきっかけになれば幸いです。

かしの木の会は会長が交代して、新しい体制になり一年が経ちました。昨年度をもって研修委員会とイベント委員会が解散し、活動がかなり縮小しました。これからも課題である組織の改革に精力的に取り組んでいきたいと思えます。会員総数約400名の大きなかしの木の会ですが、年々会員の高齢化は進んでいます。運営委員会の役員のなり手不足も深刻です。活動内容の更なる縮小は避けて通ることはできません。今後も見直しを進めていくために、会員の皆様のご意見に耳を傾け、これからのかしの木の会の進む方向を決めていく所存です。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

かしの木の会会長 清水 二美

# 令和7年度 新主任 & 新規採用者

(主任昇任者)



そら豆キッズ  
石谷静香 主任



療育サポート  
宮崎裕子 主任



ステップ  
水谷泰成 主任



GHCかしの木  
今枝篤主任

(新規採用者)



かしの木の里  
山崎穂花さん

①音楽鑑賞

②利用者さんと一緒に  
幸せを見つけられるよ  
うな職員になりたいで  
す。

新規採用者の皆さんには  
こんな質問をしています

- ①趣味、マイブーム
- ②こんな職員になりたいな



## 豊田合成様からのご寄贈について

豊田合成様より、寄贈品をいただきましたので、報告いたします。

豊田合成様のチャリティーの一環で、社員食堂メニューに「ハートフルメニュー」があり、そのメニューの売り上げの一部を福祉団体に寄贈されているそうです。

ご寄贈いただいた品は、こちらの希望を伝えさせてもらい、「わがんせ」の利用者の方の仕の手助けになればとエアータオル2台、休憩時にくつろげるようにとダイニングテーブルセットです。

ご寄贈にあたり、3月28日(金)に交流スペースの「夢ぼけっと」にて贈呈式が行われました。豊田合成様からは総務部部長の梅田様、総務部社会貢献推進センター事務局の阿部様、山田様にお越しいただきました。樫の木福祉会からは北川理事長、野崎事務局長、森事務局次長が同席し、「わがんせ」からは職員と利用者の方が参加しました。

利用者の方は寄贈式が始まった直後は非常に緊張した面持ちでしたが、式が進むにつれて表情が次第にほぐれていきました。式が終わった後、利用者のおひとりが感謝を伝えるため、梅田様に握手を求める一幕もありました。

現在、エアータオルは「わがんせ」では手洗いの後に使い、ダイニングテーブルセットは「明地」の利用者の方が休憩で使わせていただいております。ありがとうございます。



ステップ 大川哲弥

## (おしらせ) 樫の木福祉会 行事予定

- おやマルシェ：7月20日(日) 10時～15時 かしの木サポートプラザで開催
- 盆踊り：8月2日(金) 17時30分～ かしの木の里周辺

## 法人コーナー

「例えばこんなことはありませんか？」  
 一宮市障害者相談支援センターゆんたく

一宮市では市内を6区域に分け、お住いの地域によって担当センターがさまざまなご相談をお受けしています。旧尾西市と萩原町は檜の木福祉会が委託を受け、ゆんたくが担当しています。

また、障害福祉サービスを利用する方からの計画相談の作成依頼もお受けしています。

障害のある方や、ご家族、支援されている方などが抱えるさまざまなお悩みについてご相談ください。障害があるのでは？と思われる方についても対応しています。

ゆんたくの受付時間は平日の8時半から17時半までですが、ご相談をお受けする時間はできる限りご都合に沿いたいと考えています。またご相談をお受けする場所はゆんたく事務所の他、ご自宅に訪問させていただくことなどもできますのでご要望をお聞かせください。

例えばこんなことはありませんか？

「障害のある子の将来が心配」「ひきこもりの子にどう対応していいかわからない」「お金の管理がうまくできなくて困っている」「おうちのことをヘルパーさんに手伝ってほしい」「お医者さんから子どもを療育に通わせた方がよいと言われた」など。相談したい内容が固まっていなくても大丈夫です。まずはお話を聞かせてください。



その過程でご本人の不安を解消しご本人の生き方の多様性や個別のご事情を大切に、ご本人の希望や思いを丁寧に聴くことを心がけ、相談の内容を整理していきます。相談内容によりますが、初回相談で終わることはほとんどありません。その後、ご本人のニーズや状況に応じて最適なサービスにつなげていくために面談や同行をし希望する暮らしのイメージを具体的にしていきたいと考えています。



お寄せいただいたご相談は内容によって病院や福祉事業所、市役所、基幹相談支援センター、地域包括支援センター、成年後見センター、学校、保育園等に協力を求めることとなります。近年は特に「8050（ハチマルゴーマル）問題」（80代の親が50代のひきこもりや自立が困難な子どもを支えることで起こる社会的孤立等の問題）やダブルケアなど、分野を越えて関係機関がチームとしての対応が必要なケースが増えており協力体制も強化されています。

ゆんたくにも地域包括支援センターや児童相談センター、生活困窮者相談窓口から協力を求める連絡がたくさん寄せられています。

障害のある方やそのご家族への支援の具体例については紙面の制限があり、ここでご紹介することはできませんが、声を上げて下されば、きっと何かしらのお役に立てることもあろうかと思っています。どうかお気軽にご連絡ください。

ゆんたく 古川 和弘

一宮障害者相談支援センター ゆんたく  
 住所：一宮市大和町馬引郷裏42  
 電話：0586-64-5882